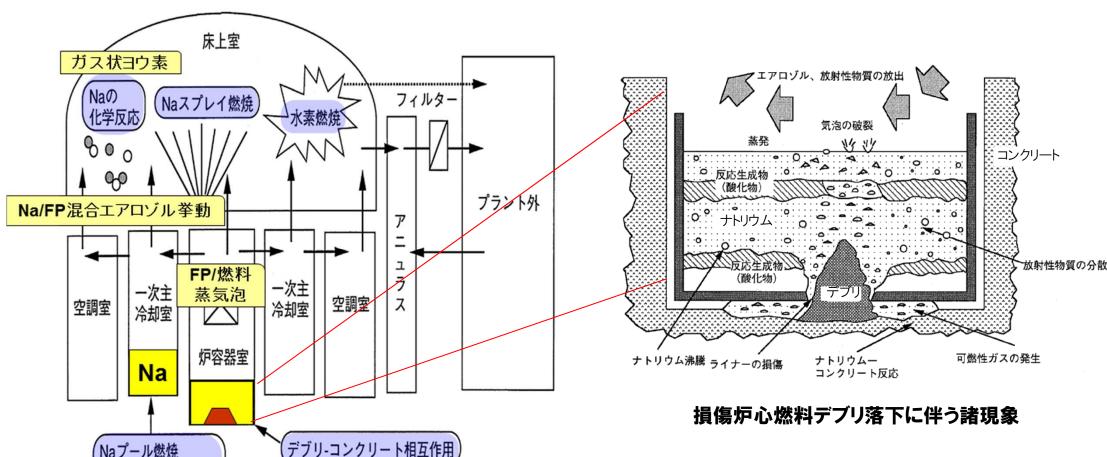
参考資料3-3-3 ③損傷炉心燃料等の安定的な冷却手段の多様化のための研究開発 炉外事象安全性評価手法開発(1/2)



シビアアクシデント時の格納容器内諸現象

Na-コンクリート反応

ナトリウム冷却高速炉特有の事象について、 評価手法の改良・検証を実施

複雑な現象を要素現象レベルで解明



評価手法(CONTAIN/LMR)を構成する解析モデルの改良・検証

参考資料3-3-3 ③損傷炉心燃料等の安定的な冷却手段の多様化のための研究開発炉外事象安全性評価手法開発(2/2)

細目	性能試験	2Cy	ЗСу	4Cy	5Cy~9Cy	10Cy以降	
「もんじゅ」工程案(検討の前提条件)	40%出力プラント確認試験 燃料 出力上昇試験	第2 定期点検 サイクル	第3 定期点検 サイクル	第4 定期点検 サイクル	 定期	定期 <mark>第</mark> 点検 <mark>10</mark>	
	7	7			安全性向上評価報告	益力の	
┃ ① 炉外事象安全性評 ┃ 価手法開発	解析モデルの機能確認、検証・改良		解析モデルの改良、総	合的検証	可能性有り		
	要素試験による現象解明、検証用データ取得	複合現象を含む総合的検証用試験データ取得					
	①要素試験・検証等に				①複合現象を含む総合的検証による安		
期待される 研究開発成果	よる安全評価に用いる標準ツールとして CONTAIN/LMRコー				全評価ツールの評価精度と信頼性の 向上、基盤データの蓄積結果		
	ドの整備結果						

参考資料3-3-4 ④炉心損傷時の再臨界の防止と事象の炉容器内終息を図るための研究開発炉心損傷時の挙動分析のための試験(EAGLE試験等)の実施(1/4)



IGR (Impulse Graphite Reactor)

照射による核分裂反応を利用し、 大型試験体(約60本のピン東試験体)の使用とパルス出力(最小半値幅120ms)・準定常出力(数分~数10分)の組み合わせによる集合体規模の燃料溶融が可能な世界唯一の試験用原子炉。



EAGLE炉外試験装置

誘導加熱により<u>約3,000℃</u> の融体を<u>約3リットル</u>生成。

試験体を耐圧性の高い鋼製格納容器内に組み入れ、 高温高圧条件下の厳しい 試験を実施できる装置。



MELT試験装置

誘導加熱等を用いて<u>約2,300℃</u> の融体を約20リットル生成。

遮蔽構造を有する地下試験施設に試験体を設置し、高強度の連続エックス線と高速度・高解像度カメラを組み合わせてナトリウム中の微粒化/堆積挙動を高速度で可視化する施設。

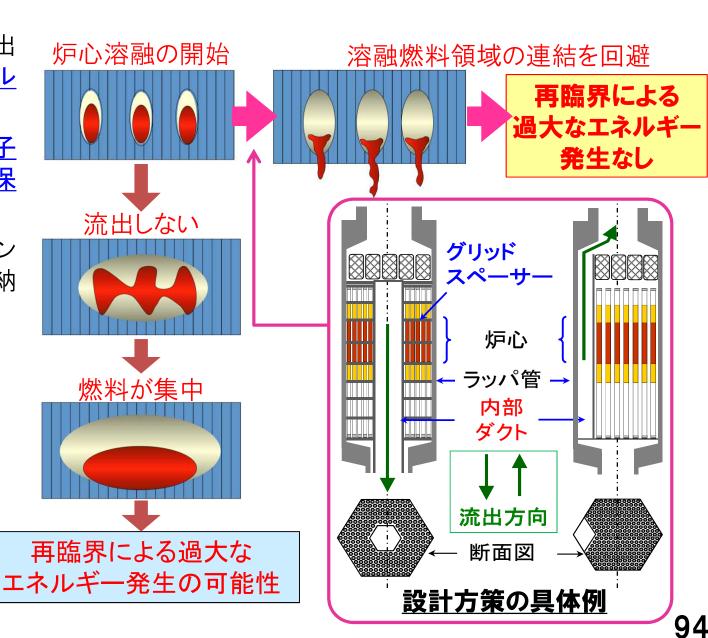
参考資料3-3-4 ④炉心損傷時の再臨界の防止と事象の炉容器内終息を図るための研究開発炉心損傷時の挙動分析のための試験(EAGLE試験等)の実施(2/4)

> 従来の安全評価

- 溶融炉心物質が炉心周辺に流出せず、<u>再臨界による過大なエネル</u> <u>ギー発生に至る状況を想定</u>。
- ・発生するエネルギーに対して<u>原子</u> <u>炉容器や格納容器の健全性が保</u> たれることを確認。
- 高出力化する場合、燃料インベントリーが大幅に増加するため、格納系の設計に過大な負担。

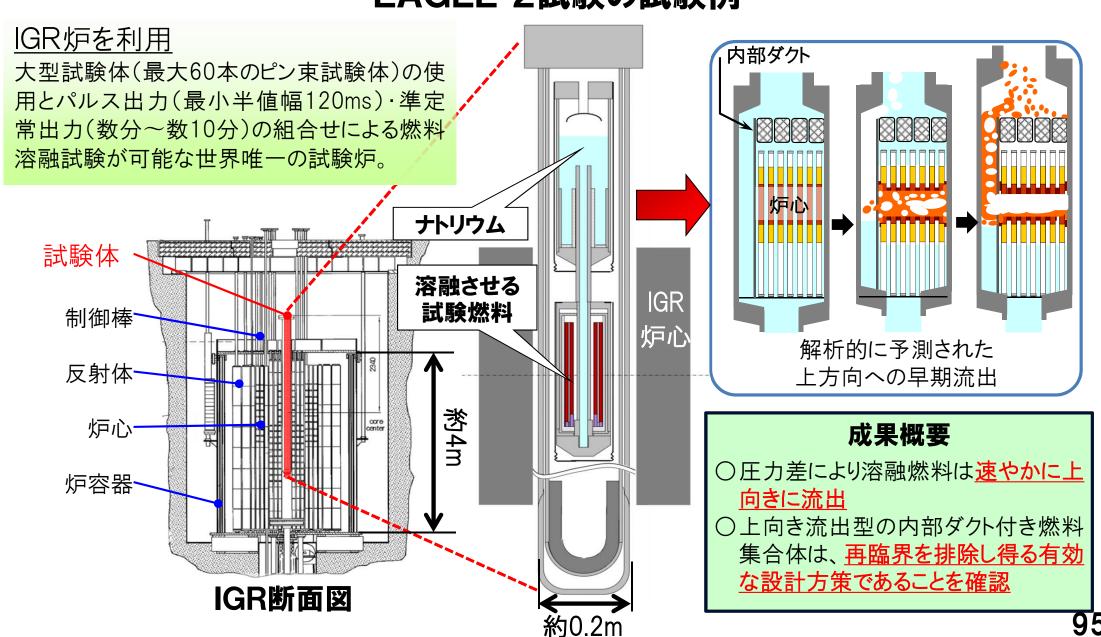
> 将来に向けた取組

- 溶融炉心物質を早期に流出させる設計方策の採用、合理的な格納系の設計を可能とする。
- 設計方策の有効性を実験的に 確認する。

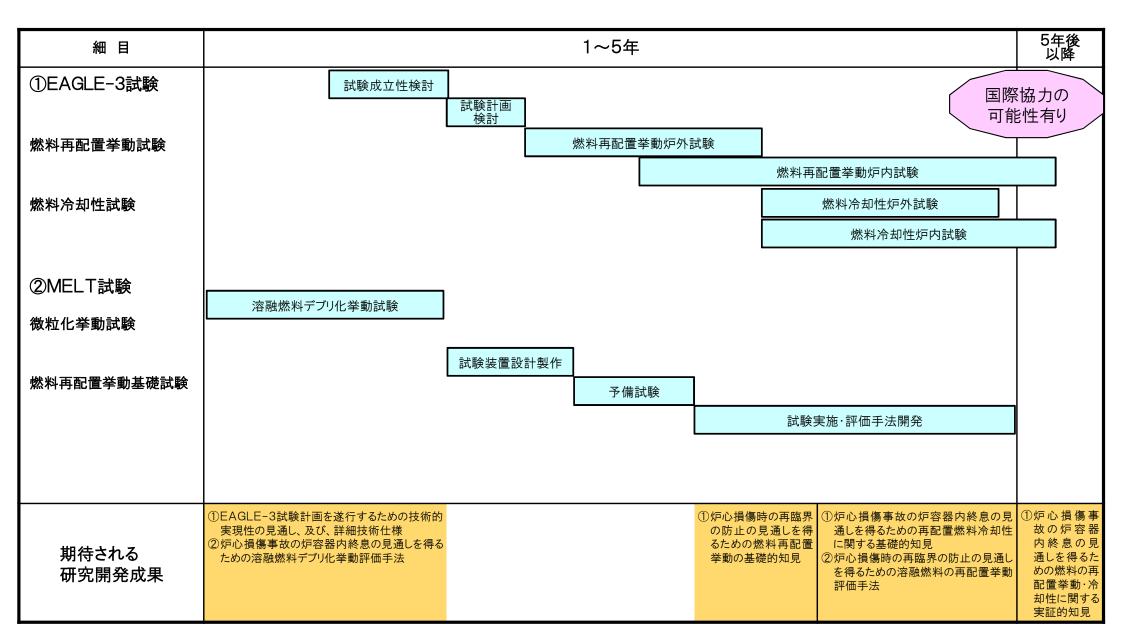


参考資料3-3-4 ④炉心損傷時の再臨界の防止と事象の炉容器内終息を図るための研究開発炉心損傷時の挙動分析のための試験(EAGLE試験等)の実施(3/4)

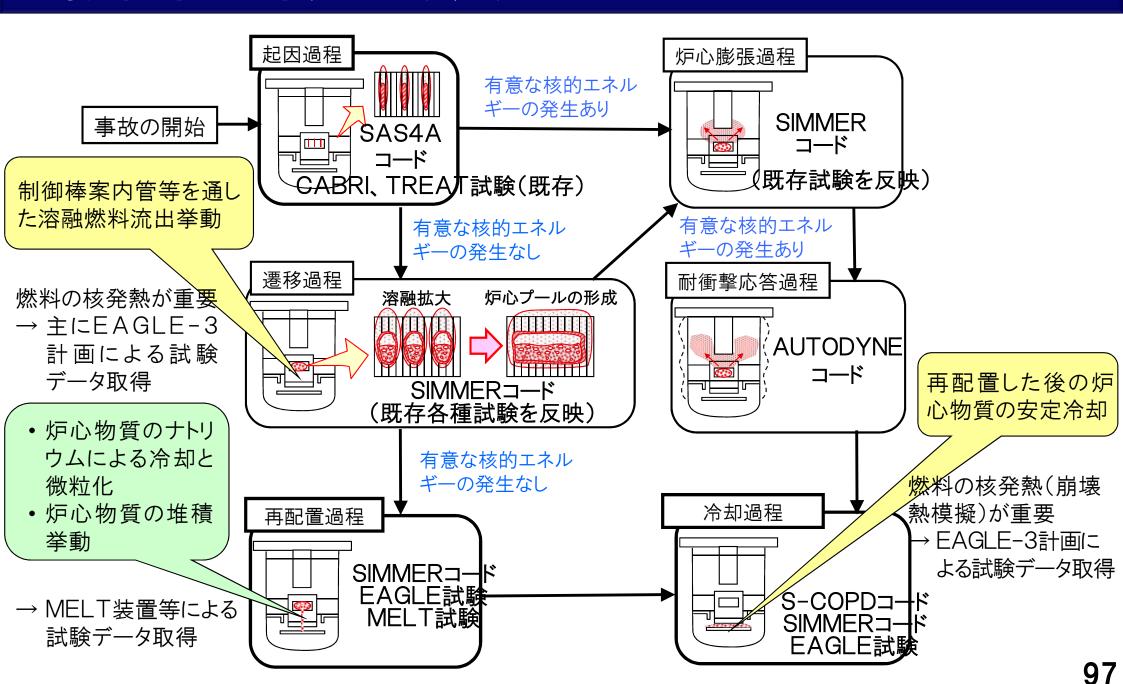
EAGLE-2試験の試験例



参考資料3-3-4 ④炉心損傷時の再臨界の防止と事象の炉容器内終息を図るための研究開発炉心損傷時の挙動分析のための試験(EAGLE試験等)の実施(4/4)



参考資料3-3-4 ④炉心損傷時の再臨界の防止と事象の炉容器内終息を図るための研究開発炉心安全性評価手法の開発と整備(1/2)



参考資料3-3-4 ④炉心損傷時の再臨界の防止と事象の炉容器内終息を図るための研究開発炉心安全性評価手法の開発と整備(2/2)

細目	~「もんじゅ」性能試験		(۲	3年後 以降	
①SAS4A整備	「もんじゆ」安全評価に向けたコード整備・ 試験検証解析				協力の性有り
② SIMMER整備	「もんじゅ」安全評価に向けたコード整備・ 試験検証解析				
③ SAS4A/SIMMER 統合解析システム 整備		コードシステム設計	システム開発	検証研究・実機適用研究によるコード整備	
期待される 研究開発成果		①、② 許認可コードとして整備された高速炉シビアアクシデント解析システム		③解析精度を向上させ、適用範囲を拡大した高速炉のシビアアクシデントの統合解析システム	

参考資料3-3-5 ⑤高速炉の安全基準に資する研究開発 SA等の研究成果の安全基準への反映(1/2)

国際安全基準

安全設計クライテリア: Safety Design Criteria (SDC) 安全設計ガイドライン: Safety Design Guideline (SDG)

SDC/SDGの位置付け

安全階層

安全原則

・原子炉施設に対する基本 的な安全原則を記述

安全設計クライテリア [GIF-SDC]

- 原子炉設計での基本的 原理的な要件を記述
- IAEA SSR-2/1に相当 するレベル

安全設計ガイドラ イン「GIF-SDG]

- 原子炉の基本的な構 成を念頭に、設計基 準·設計条件、信頼 性に関する要件を具 体化
- IAEA NS-Gシリーズ に相当するレベル

規格 · 基準 BCDE A国 「各国で策定]

GIF安全目標

GIF基本的 安全方策

高速炉SDC

高温 Ⅵ 受動 Ⅵ 他 構造 【 安全

高速炉SDG

通常運転と異常な過渡 変化の考え方

DBA想定の考え方

DEC想定の考え方、等

炉心 他

冷却 格納

SDGの検討フロー 第4世代Na炉のSDC ナトリウム 参考とした軽水炉 冷却高速炉 安全指針 の特徴 IAEA NS-G 炉心、冷却、格納 福島事故経験 「もんじゅ」 の反映

個々のガイドラインで、 SDGへ反映すべき 性能要求、適合条件を 事項の摘出 具体化

電源強化、等

様々なハザードへ対応

反映

からの知見

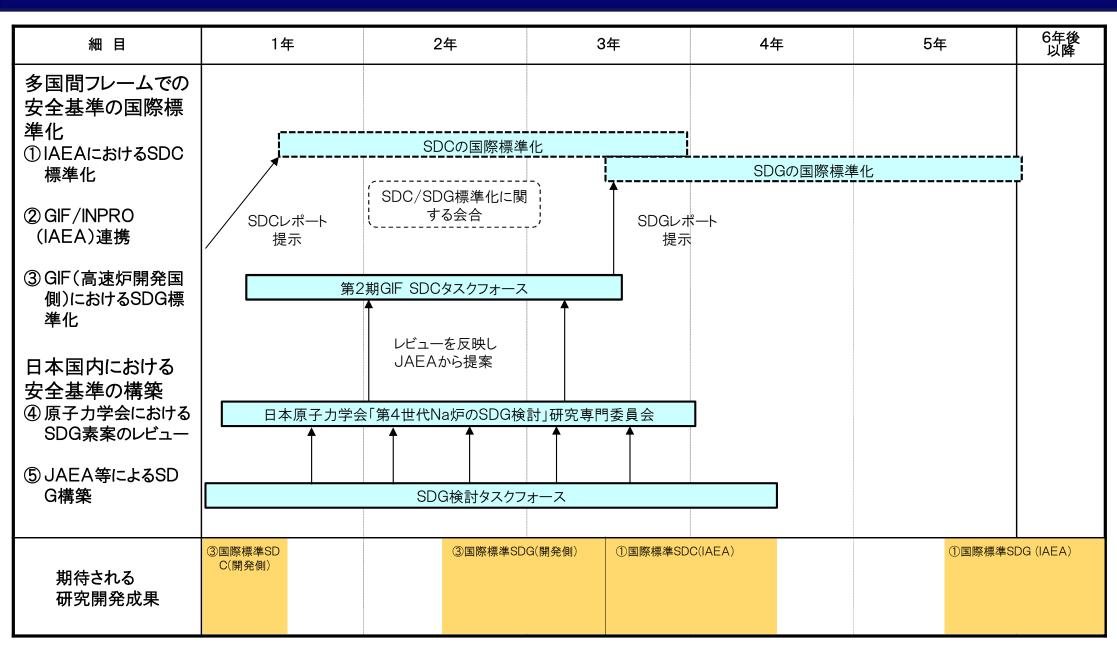
プラント経験 等

GIFナトリウム冷却高速炉SDG

99

参考資料3-3-5 ⑤高速炉の安全基準に資する研究開発

SA等の研究成果の安全基準への反映(2/2)



SDC: Safety Design Criteria SDG: Safety Design Guideline

破線部は予定